

令和 6 年 6 月 15 日現在

機関番号：34517

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2021～2023

課題番号：21H03369

研究課題名(和文) Apop-1を標的とした脂肪肝や肝臓の発症機構とミトコンドリア機能との関係の解明

研究課題名(英文) Clarify the role of mitochondria function on the development of fatty liver and hepatic carcinogenesis by targeting Apop-1

研究代表者

福尾 恵介 (FUKUO, Keisuke)

武庫川女子大学・食物栄養科学部・教授

研究者番号：40156758

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,200,000円

研究成果の概要(和文)：DMBAと高脂肪食による化学肝発がん実験の結果、WTマウスに比しAPOP1 KOマウスでは、ほんの数個しか腫瘍形成を認めず、顕著な腫瘍形成抑制を認めた。シングルセルRNA-seq解析の結果、APOP1 KOマウスの肝臓組織を構成する多くの細胞で自然免疫シグナルが活性化していることが分かった。臨床研究において、NAFLD/NASHではAPOP1のSNPのMinor alleleを有する例では脂肪化の程度や合併率が高い傾向にあった。また線維化マーカーは高値で血小板は低値であり、その傾向は男性症例で強く、APOP1のSNPがNAFLD/NASHの発症や進展に関連する可能性が示唆された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、我々が発見したミトコンドリア蛋白質APOP1を標的として、脂肪肝からの肝発がん機序を明らかにするものである。高脂肪食誘導性肝臓発症モデルでは、APOP1 KOマウスはWTマウスに比し肝腫瘍形成が顕著に抑制されること、シングルセルRNA-seq解析により、APOP1 KOマウスでは自然免疫系のシグナル分子が活性化されていることを初めて明らかにした。また、NASH/NAFLD患者を対象としたAPOP1 SNPと脂肪化の程度や線維化マーカーや血小板の値などとの関係の解析から、APOP1 SNPがNAFLD/NASHの発症や進展に関連する可能性があることを初めて明らかにした。

研究成果の概要(英文)：Chemically induced carcinogenesis in the liver was performed by DMBA and high fat diet in APOP1 KO and wild type mice. Compared with wild type mice, tumor formation was significantly suppressed and only a few malignant tumors were observed in APOP1 KO mice. Single cell RNA-seq analyses showed that signaling molecules of innate immunity were activated in liver tissues isolated from APOP1 KO. In clinical studies, APOP1 SNP analyses showed that NAFLD/NASH patients with minor allele had higher incidence of hepatic steatosis and higher content of fat as compared to NAFLD/NASH patients with major allele. In addition, higher fibrosis markers and lower numbers of platelets in major allele patients as compared with minor allele and these tendencies were stronger in male patients compared with female patients. These findings suggest that APOP1 SNP may be associated with development and progression in male patients with NAFLD/NASH.

研究分野：臨床栄養学

キーワード：ミトコンドリア 脂肪肝 肝発がん

## 様式 C-19、F-19-1 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

肥満では、脂肪肝からの肝がん発症が、大きな社会問題となっている (J Hepatol. 2018;68, 326-334)。ミトコンドリアは、エネルギー代謝だけでなく、活性酸素種 (ROS) の産生や老化機構に関係し、脂肪肝や肝がんの発症に関与する (Arch Pharm Res. 2019; 42:935-946)。しかし、脂肪肝からの肝がん発症機構で標的となるミトコンドリア蛋白質は明らかでない。我々は、脂質代謝異常を発症するApolipoprotein E 欠損マウスより動脈硬化特異的に発現する Apoptogenic protein-1 (Apop-1) 遺伝子を新たに同定したが、この遺伝子は、心臓、脳、腎臓、骨格筋、肝臓など、ほとんど全ての臓器に発現する。興味深いことに、Apop-1 は、ミトコンドリアに局在し、ヒト血管内皮細胞においてAkt 依存性にアポトーシスの制御に関与する (J Biol Chem.2006; 281:23899-23907, Biochem Biophys Res Commun. 2008; 377: 1097-1101)。また、我々は、マウスに高脂肪食負荷を行うと、脂肪肝とともに、腸内細菌叢の変化によって生成された二次胆汁酸のデオキシコール酸が、腸肝循環を介して肝星細胞に細胞老化を誘導し、老化した肝星細胞から炎症や腫瘍の発生を促進する物質が分泌されるという senescence associated secretory phenotype (SASP) が惹起され、発がん物質による肝がんの発症が促進されることを明らかにした (Nature 2013; 499:97-101)。

### 2. 研究の目的

本研究は、Apop-1 KO と野生型マウスを用いて、高脂肪食によって誘導される二次胆汁酸デオキシコール酸を介した肝星細胞の細胞老化とSASP の病態や肝がん発症の程度について比較検討するとともに、ヒトの脂肪肝患者を対象として、Apop-1 SNP と脂肪肝の病態や肝がん発症の程度との関係を検討し、基礎と臨床の両面の研究から、Apop-1 と脂肪肝や肝がんの発症機構との関係を明らかにすることを目的とした。

### 3. 研究の方法

(1) 基礎研究 ①肝化学発癌実験系 (新生仔マウスにDMBA 1 回塗布後、高脂肪食摂取により30 週齢時にほぼ100%高脂肪食誘導性肝がんが発症; Nature 499,97-101 (2013)) を用いた Apop-1 KO マウスと野生型マウスにおける脂肪肝や肝がん発症を比較検討した。②シングルセル解析: 肝化学発癌実験系のマウス肝組織を用いたSingle-cell RNA sequencing (大阪大学微生物病研究所・遺伝情報実験センター) 結果を解析し、肝星細胞の老化指標p16 発現やSASP 指標IL-1 $\alpha$ 等の発現と肝がん発症との関係をApop-1 KO と野生型で比較検討し、肝がん微小環境における細胞間相互作用とApop-1 との関係を検討した。③高脂肪食負荷時のApop-1KO での脂肪肝や肝がん抑制のメカニズムを明らかにする目的で、肝組織のRNA 抽出を用いた次世代シーケンス解析を行った。

(2) 臨床研究 ①Apop-1 SNP とNASH 発症・発がんとの関連の検討: 病理学的に

NAFLD/NASHと確定診断された症例を対象とするが、我々は約200 症例のNASH 患者の凍結肝組織や末梢血単核球から抽出されたDNA 検体を収集・保管している。これらのDNA を用いて、Apop-1 SNP と臨床所見や組織所見との関係を検討した。

#### 4. 研究成果

##### (1) 基礎研究

高脂肪食誘導性肝がん発症モデルにおいて、Apop-1 KO マウスは野生型 (WT) マウスと比べて顕著な肝腫瘍形成の抑制を認めた (図1) すなわち、図1 に示すように、WT マウスでは高脂肪食負荷後に肝臓での著明な腫瘍形成を認め、直径が6 mm を超えるものも存在した。これに対して、KO マウスでは、2 回の検討いずれにおいても、肝臓での腫瘍形成が顕著に抑制され、直径が6 mm を超えるものは全く認めなかった。

次に、肝がん微小環境における細胞間相互作用

とApop-1 との関係を検討する目的で、KO マウスとWT マウスの肝臓組織を使って、シン

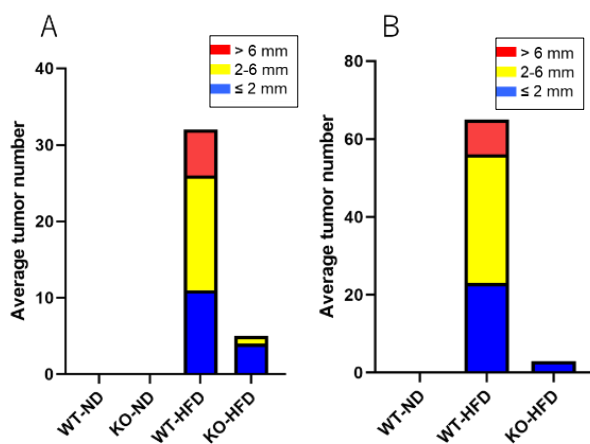


図1 APOB1 ノックアウトマウスでは腫瘍形成が著明に減少する。A: 1 回目結果、各グループ n=10 B: 2 回目結果、各グループ n=5

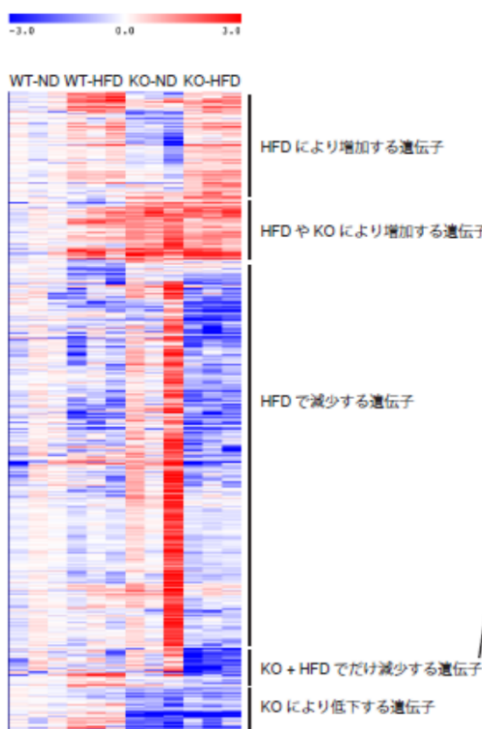


図2 . 次世代シーケンス解析結果

グルセルRNA-seq 解析を実施した。その結果、KO マウスの肝臓組織を構成する多くの細胞で自然免疫シグナルが活性化していることが分かった。このメカニズムとしては、ミトコンドリア機能の dysfunction により、ミトコンドリアDNA を介した自然免疫が活性化し、抗腫瘍免疫が活性化された可能性について、今後検証する。

次に、高脂肪食負荷マウスにおいて、KO マウスはWTマウスに比し、有意に脂肪肝の発症が抑制されることを発見したが、肝がん発症モデルにおいてもKO マウスにおいて肝臓の脂肪化抑制が認められたため、KO マウスとWTマウスそれぞれの高脂肪食負荷時の肝臓サンプル (WT マウス普通食群、WT マウス高脂肪食群、KO マウス普通食群、KO マウス高脂肪食群、各3検体) のRNA 抽出を行い、次世代シーケンス解析を行った。

その結果、図2 に示すように、KO マウス+高脂肪食負荷でのみ発現が低下する遺伝子において、ミトコンドリアでの酸化的リン酸化から細胞質の解糖系によるエネルギー誘導へと切り替える、ある酵素の発現低下が認められた。今後、肝発がん抑制との関係について詳細に検討を加える予定である。

## (2) 臨床研究

①Apop-1 SNP とNASH 発症・発がんとの関連の検討：NAFLD/NASH 例で肝生検を行った症例について、遺伝子同意とサンプル取得のある症例 (N=82) でApop-1 の遺伝子多型の解析を行った。NAFLD/NASH ではApop-1 のMinor allele (CT/TT) を有する例ではMajor allele (CC) に比して、脂肪化の程度や合併率が高い傾向にあった。また、図3に示すように、線維化マーカーであるヒアルロン酸やFIB4 Index においても、CT/TT はCC に比しそれぞれ高値を示し、血小板は低値を示した。興味深いことに、その傾向は男性症例で強く、Apo-1 の遺伝子多型NAFLD/NASH の発症や進展に関連する可能性が示唆された。

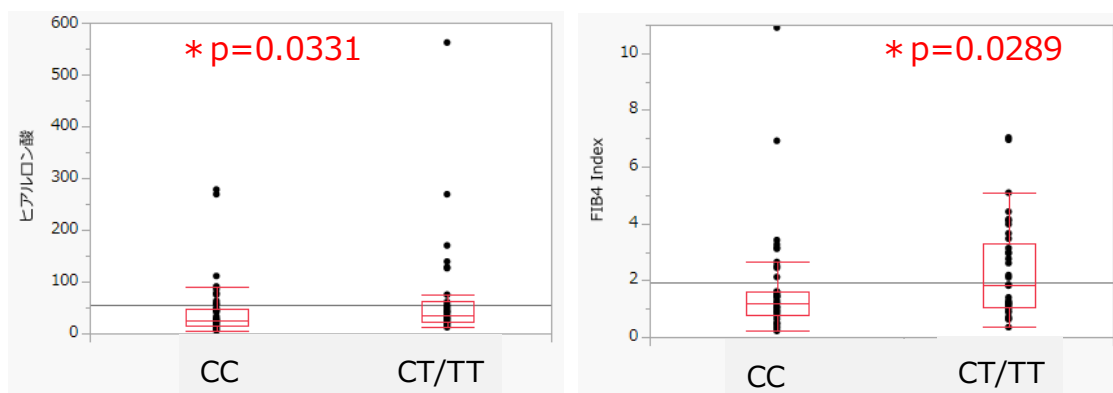


図3 Apop-1 のNon-major type (CT/TT)では、CC type に比して線維化マーカーが有意に高い結果であった

NAFLD/NASH 患者の凍結肝組織や末梢血単核球から抽出されたDNA 検体を収集・保管しているため、Apop-1 SNP と臨床所見や組織所見（脂肪化・炎症・線維化など）との関係や肝発がんとの関係についてさらに詳細に検討する。

近年ではC 型肝炎ウイルス (HCV) は内服薬でほぼ全例で排除可能となり、B 型肝炎ウイルス (HBV) もその増殖が内服薬で可能となっている。ウイルスコントロールがなされた状況では、肝脂肪化は肝線維化の進展や発癌リスクに関係する重要な因子と考えられている。そこで当科で肝生検を施行したHBV・HCV 例で、ウイルスコントロールがなされた状態での肝組織所見や肝発がんを含む臨床経過とApop-1 SNP との関係についても検討する予定である。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計122件（うち査読付論文 118件 / うち国際共著 7件 / うちオープンアクセス 33件）

1. 著者名 Okina Y, Sato-Matsubara M, Kido Y, Urushima H, Daikoku A, Kadono C, Nakagama Y, Nitahara Y, Hoang TH, Thuy LTT, Matsubara T, Ohtani N, Ikeda K, Yoshizato K, Kawada N	4. 巻 38
2. 論文標題 Nitric Oxide Derived from Cytoglobin-Deficient Hepatic Stellate Cells Causes Suppression of Cytochrome c Oxidase Activity in Hepatocytes	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Antioxid Redox Signal	6. 最初と最後の頁 463-479
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/ars.2021.0279	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Choi Y, Takasugi M, Takemura K, Yoshida Y, Kamiya T, Adachi J, Tsuruta D, Ohtani N	4. 巻 12
2. 論文標題 Characterization of Transcriptomic and Proteomic Changes in the Skin after Chronic Fluocinolone Acetonide Treatment	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Biomolecules	6. 最初と最後の頁 1822
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biom12121822	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Dong MP, Thuy LTT, Hoang DV, Hai H, Hoang TH, Sato-Matsubara M, Hieu VN, Daikoku A, Hanh NV, Urushima H, Dat NQ, Uchida-Kobayashi S, Enomoto M, Ohtani N, Tamori A, Kawada N	4. 巻 192
2. 論文標題 Soluble Immune Checkpoint Protein CD27 Is a Novel Prognostic Biomarker of Hepatocellular Carcinoma Development in Hepatitis C Virus-Sustained Virological Response Patients.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Am J Pathol	6. 最初と最後の頁 1379-1396
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ajpath.2022.07.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Huu Hoang T, Sato-Matsubara M, Yuasa H, Matsubara T, Thuy LTT, Ikenaga H, Phuong DM, Hanh NV, Hieu VN, Hoang DV, Hai H, Okina Y, Enomoto M, Tamori A, Daikoku A, Urushima H, Ikeda K, Dat NQ, Yasui Y, Shinkawa H, Kubo S, Yamagishi R, Ohtani N, Yoshizato K, Gracia-Sancho J, Kawada N	4. 巻 8
2. 論文標題 Cancer cells produce liver metastasis via gap formation in sinusoidal endothelial cells through proinflammatory paracrine mechanisms	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Science Adv	6. 最初と最後の頁 eabo5525
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciadv.abo5525	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yukawa-Muto Y, Kamiya T, Fujii H, Mori H, Toyoda A, Sato I, Konishi Y, Hirayama A, Hara E, Fukuda S, Kawada N, Ohtani N	4. 巻 6
2. 論文標題 Distinct responsiveness to rifaximin in patients with hepatic encephalopathy depends on functional gut microbial species	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Hepatol Commun	6. 最初と最後の頁 2090-2104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hep4.1954	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Konishi Y, Okumura S, Matsumoto T, Itatani Y, Nishiyama T, Okazaki Y, Shibutani M, Ohtani N, Nagahara H, Obama K, Ohira M, Sakai Y, Nagayama S, Hara E	4. 巻 11
2. 論文標題 Development and evaluation of a colorectal cancer screening method using machine learning-based gut microbiota analysis	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cancer Med	6. 最初と最後の頁 3194-3206
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cam4.4671	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Cheng Y, Yamagishi R, Nonaka Y, Sato-Matsubara M, Kawada N, Ohtani N	4. 巻 14
2. 論文標題 Non-heat-stressed Method to Isolate Hepatic Stellate Cells From Highly Steatotic Tumor-bearing Liver Using CD49a	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cell Mol Gastroenterol Hepatol	6. 最初と最後の頁 964-966.e9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jcmgh.2022.07.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamagishi R, Kamachi F, Nakamura M, Yamazaki S, Kamiya T, Takasugi M, Cheng Y, Nonaka Y, Yukawa-Muto Y, Thuy LTT, Harada Y, Arai T, Loo TM, Yoshimoto S, Ando T, Nakajima M, Taguchi H, Ishikawa T, Akiba H, Miyake S, Kubo M, Iwakura Y, Fukuda S, Chen WY, Kawada N, Rudensky A, Nakae S, Hara E, Ohtani N	4. 巻 7(72):
2. 論文標題 Gasdermin D-mediated release of IL-33 from senescent hepatic stellate cells promotes obesity-associated hepatocellular carcinoma	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Science Immunol	6. 最初と最後の頁 eabl7209
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciimmunol.abl7209.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hoang DV, Thuy LTT, Hai H, Hieu VN, Kimura K, Oikawa D, Ikura Y, Dat NQ, Hoang TH, Sato-Matsubara M, Dong MP, Hanh NV, Uchida-Kobayashi S, Tokunaga F, Kubo S, Ohtani N, Yoshizato K, Kawada N	4. 巻 11
2. 論文標題 Cytoglobin attenuates pancreatic cancer growth via scavenging reactive oxygen species	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Oncogenesis	6. 最初と最後の頁 23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41389-022-00389-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takasugi M, Yoshida Y, Hara E, Ohtani N	4. 巻 290
2. 論文標題 The role of cellular senescence and SASP in tumour microenvironment	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 FEBS J	6. 最初と最後の頁 1348-1361
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/febs.16381	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takasugi M, Yoshida Y, Ohtani N	4. 巻 16
2. 論文標題 Cellular senescence and the tumour microenvironment	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Mol Oncol	6. 最初と最後の頁 3333-3351
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1878-0261.13268.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kamiya T, Ohtani N	4. 巻 34
2. 論文標題 The role of immune cells in the liver tumor microenvironment: an involvement of gut microbiota-derived factors.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int Immunol	6. 最初と最後の頁 467-474
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxac020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ohtani N	4. 巻 42
2. 論文標題 The roles and mechanisms of senescence-associated secretory phenotype (SASP): can it be controlled by senolysis?	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Inflamm Regen	6. 最初と最後の頁 11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s41232-022-00197-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Liu Y., Liu C., Li J., Kim T.H., Enomoto H., Qi X	4. 巻 76
2. 論文標題 Risk stratification of decompensation using liver stiffness and platelet counts in compensated advanced chronic liver disease (CHESS2102)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Hepatol	6. 最初と最後の頁 248-250
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue-Yuri M., Enomoto H., Wakabayashi I., Yuri Y., Aizawa N., Ikeda N., Takashima T., Fujiwara A., Yoshioka R., Kawata S., Yoshihara K., Ota S., Nakano R., Shiomi H., Nishimura T., Nishiguchi S., Iijima H.	4. 巻 36
2. 論文標題 Modification of the ALBI-PLT Score for the Prediction of High-risk Varices.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 In Vivo	6. 最初と最後の頁 1360-1366
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shimono Y., Enomoto H., Aizawa N., Takashima T., Ikeda N., Yuri Y., Fujiwara A., Yoshihara K., Yoshioka R., Kawata S., Ota S., Nakano R., Shiomi H., Nishimura T., Iijima H	4. 巻 36
2. 論文標題 Possible Alterations in Appetite-related Molecules After the Elimination of Hepatitis C Virus	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 In Vivo	6. 最初と最後の頁 1491-1496
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Liu C., Li J., Wong Y.J., Xie Q., Hirooka M., Enomoto H., Kim T.H., Hanafy A.S., He R., Koizumi Y., Hiasa Y., Nishimura T., Iijima H., Jung Y.K., Yim H.J., Ma J., Zeng Q.L., Sarin S.K., Qi X.	4. 巻 6
2. 論文標題 ABC: a novel algorithm to stratify decompensation risk in patients with compensated advanced chronic liver disease (CHESS2108): an international, multicenter cohort study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Hepatol Int	6. 最初と最後の頁 1105-1115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Liu C., Cao Z., Yan H., Wong Y.J., Xie Q., Hirooka M., Enomoto H., Kim T.H., Hanafy A.S., Liu Y., Huang Y., Li X., Kang N., Koizumi Y., Hiasa Y., Nishimura T., Iijima H., Jung Y.K., Yim H.J., Guo Y., Zhang L., Ma J, Kumar M, Jindal A, Teh KB, Sarin SK, Qi X.	4. 巻 117
2. 論文標題 A Novel SAVE Score to Stratify Decompensation Risk in Compensated Advanced Chronic Liver Disease (CHESS2102): An International Multicenter Cohort Study.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Am J Gastroenterol	6. 最初と最後の頁 1605-1613
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Korenaga M., Murata K., Izumi N, Tamaki N., Yokosuka O., Takehara T., Sakamoto N., Suda G., Nishiguchi S., Enomoto H., Ikeda F., et al	4. 巻 4
2. 論文標題 No increased risk of hepatocellular carcinoma after eradication of hepatitis C virus by direct-acting antivirals, compared with interferon-based therapy	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Glob Health Med	6. 最初と最後の頁 216-224
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuri M., Nishimura T., Tada T., Yoshida M., Fujiwara A., Kawata S., Yoshihara K., Yoshioka R., Ota S., Nakano R., Yuri Y., Takashima T., Aizawa N., Ikeda N., Shiomi H., Ide Y.H., Enomoto H., Yasuhiro F., Yano H., Iijima H	4. 巻 52
2. 論文標題 Diagnosis of hepatic steatosis based on ultrasound attenuation imaging is not influenced by liver fibrosis.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Hepatol Res	6. 最初と最後の頁 1009-1019
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Enomoto H., Takashima T., Nishimura T., Aizawa N., Ikeda N., Yuri Y., Okamoto, M., Yoshihara K., Yoshioka R., Kawata S., Ota S., Nakano R., Shiomi H., Iijima H	4. 巻 1
2. 論文標題 Liver cirrhosis in Japan: Future global trends in the era of progressive antiviral therapy.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Port Hypertens Cirrhos	6. 最初と最後の頁 178-183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakano R., Shiomi H., Fujiwara A., Yoshihara K., Yoshioka R., Kawata S., Ota S., Yuri Y., Takashima T., Aizawa N., Ikeda N., Nishimura T., Enomoto H., Iijima H	4. 巻 10
2. 論文標題 Clinical Characteristics of ICI-Related Pancreatitis and Cholangitis Including Radiographic and Endoscopic Findings	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Healthcare	6. 最初と最後の頁 76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kanda T., Sasaki-Tanaka R., Ishii T., Abe H., Ogawa M., Enomoto H	4. 巻 11
2. 論文標題 Acute Liver Failure and Acute-on-Chronic Liver Failure in COVID-19 Era	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Clin Med	6. 最初と最後の頁 4249
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Enomoto H., Nishimura T., Aizawa N., Takashima T., Ikeda N., Yuri Y., Fujiwara, A., Yoshihara K., Yoshioka R., Kawata S., Ota S., Nakano R., Shiomi H., Iijima H	4. 巻 6
2. 論文標題 Branched chain amino acid-to-tyrosine ratio: not only an indicator of the amino acid imbalance.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Digestive Medicine Research. Dig Med Res	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishii-Kitano N., Enomoto H., Nishimura T., Aizawa N., Shibata Y., Higashiura A., Takashima T., Ikeda N., Yuri Y., Fujiwara A., Yoshihara K., Yoshioka R., Kawata S., Ota S., Nakano R., Shiomi H., Hirota S., Kumabe T., Nakashima O., Iijima H.	4. 巻 12
2. 論文標題 Multiple Inflammatory Pseudotumors of the Liver Demonstrating Spontaneous Regression: A Case Report.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Life	6. 最初と最後の頁 124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Enomoto H., Fujiwara M., Kono H., Kako Y., Takahagi M., Taniguchi J., Ishikawa E., Ikeda N., Takashima T., Yuri Y., Aizawa N., Okamoto M., Yoshihara K., Yoshioka R., Kawata S., Ota S., Nakano R., Shiomi H., Nishimura T., Hirota S., Yamakado K., Iijima H.	4. 巻 13
2. 論文標題 Metastasis of Hepatocellular Carcinoma in the Pouch of Douglas Successfully Treated by Radiation Therapy: A Case Report	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Life	6. 最初と最後の頁 225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shiomi H., Nakano R., Ota S., Nishimura T., Enomoto H., Iijima H	4. 巻 55
2. 論文標題 Recanalization using a novel drill-shaped dilator for a severe pancreatic duct stricture and impacted pancreatic duct stone	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Endoscopy	6. 最初と最後の頁 E351-E353
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishikawa H, Asai A, Fukunishi S	4. 巻 14
2. 論文標題 The Significance of Zinc in Patients with Chronic Liver Disease	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nutrients	6. 最初と最後の頁 4855
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Asaishi K, Matsui M, Nishikawa H, Goto M, Asai A, Ushiro K, Ogura T, Takeuchi T, Nakamura S, Kakimoto K, Miyazaki T, Fukunishi S, Ohama H, Yokohama K, Yasuoka H, Higuchi K	4. 巻 11
2. 論文標題 Grip Strength in Patients with Gastrointestinal Diseases.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Clin Med	6. 最初と最後の頁 2079
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakata S, Kakimoto K, Numa K, Kinoshita N, Kawasaki Y, Tatsumi Y, Tawa H, Koshiba R, Hirata Y, Ota K, Sakiyama N, Kojima Y, Nishikawa H, Inoue T, Takeuchi T, Fukunishi S, Miyazaki T, Nakamura S, Higuchi K	4. 巻 103
2. 論文標題 Risk Factors for Nephrotoxicity due to Tacrolimus Therapy for Ulcerative Colitis	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Digestion	6. 最初と最後の頁 339-346
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamasaki E, Nishikawa H, Goto M, Matsui M, Asai A, Ushiro K, Ogura T, Takeuchi T, Nakamura S, Kakimoto K, Miyazaki T, Fukunishi S, Ohama H, Yokohama K, Yasuoka H, Higuchi K	4. 巻 11
2. 論文標題 The Relevance in the Neutrophil to Lymphocyte Ratio and the SARC-F Score in Gastrointestinal Diseases	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Clin Med	6. 最初と最後の頁 2012
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Asai A, Tsuchimoto Y, Ohama H, Nishikawa H, Chopra A, Higuchi K.	4. 巻 11
2. 論文標題 CD34+CD10+CD19- Cells in Patients with Unhealthy Alcohol Use Stimulate the M2b Monocyte Polarization	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cells	6. 最初と最後の頁 2703
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikegami T, Nishikawa H, Goto M, Matsui M, Asai A, Ushiro K, Ogura T, Takeuchi T, Nakamura S, Kakimoto K, Miyazaki T, Fukunishi S, Ohama H, Yokohama K, Yasuoka H, Higuchi K.	4. 巻 11
2. 論文標題 The Relationship between the SARC-F Score and the Controlling Nutritional Status Score in Gastrointestinal Diseases	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Clin Med	6. 最初と最後の頁 582
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamasaki E, Shimamoto F, Nishikawa H, Goto M, Iwamoto M, Kimura K, Ukimura A, Oosaka N, Taniguchi K, Ono F, Terazawa T, Yamaguchi T, Asaishi K, Ikegami T, Uchiyama K, Nakamura S, Higuchi K	4. 巻 36
2. 論文標題 A Prospective Study Regarding the Efficacy and Safety of the BNT162b2 Vaccine in Patients With Solid Malignancies Undergoing Systemic Chemotherapy.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 In Vivo	6. 最初と最後の頁 2780-2789
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakano M, Miyake A, Egashira R, Takeuchi M, Moriguchi M, Tonari S, Saito H, Nishikawa H, Matsui K, Hagihara K	4. 巻 36
2. 論文標題 Clinical Importance of Body Composition in Improving Bone Mineral Density of Femoral Neck After Denosumab Therapy in Patients With Rheumatoid Arthritis or Collagen Diseases	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 In Vivo	6. 最初と最後の頁 1468-1476
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Asai A, Hirai S, Yokohama K, Nishikawa T, Nishikawa H, Higuchi K	4. 巻 11
2. 論文標題 Effect of an Electronic Alert System on Hepatitis B Virus Reactivation in Patients Receiving Immunosuppressive Drug Therapy	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Clin Med	6. 最初と最後の頁 2446
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uba Y, Ogura T, Ueno S, Okuda A, Nishioka N, Miyano A, Yamamoto Y, Bessho K, Tomita M, Nakamura J, Hakoda A, Nishikawa H	4. 巻 12
2. 論文標題 Comparison of Endoscopic Hemostasis for Endoscopic Sphincterotomy Bleeding between a Novel Self-Assembling Peptide and Conventional Technique	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Clin Med	6. 最初と最後の頁 79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tawa H, Kakimoto K, Numa K, Kinoshita N, Kawasaki Y, Tatsumi Y, Koshiba R, Nakata S, Hirata Y, Ota K, Sakiyama N, Kojima Y, Koubayashi E, Nishikawa H, Takeuchi T, Inoue T, Fukunishi S, Miyazaki T, Nakamura S, Higuchi K	4. 巻 103
2. 論文標題 Therapeutic Drug Monitoring of Golimumab for the Prediction of Long-Term Clinical Remission in Patients with Ulcerative Colitis	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Digestion	6. 最初と最後の頁 329-338
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikegami T, Nishikawa H, Goto M, Shimamoto F, Terazawa T, Yamaguchi T, Yamasaki E, Asaishi K, Nakamura S, Higuchi K	4. 巻 13
2. 論文標題 Prognostic Impact of Ectopic Fat Deposition within Psoas Muscle in Stage IV Gastric Cancer Patients Undergoing Systemic Chemotherapy	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Cancer	6. 最初と最後の頁 3477-3484
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ogura T, Ueno S, Okuda A, Nishioka N, Miyano A, Yamamoto Y, Bessho K, Tomita M, Hattori N, Nakamura J, Nishikawa H	4. 巻 12
2. 論文標題 Can Lemborexant for Insomnia Prevent Delirium in High-Risk Patients with Pancreato-Biliary Disease after Endoscopic Procedures under Deep Sedation?	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Clin Med	6. 最初と最後の頁 297
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mari Honda, Ayaka Tsuboi, Satomi Minato-Inokawa, Mika Takeuchi, Megumu Yano, Miki Kurata, Bin Wu, Tsutomu Kazumi, Keisuke Fukuo	4. 巻 13
2. 論文標題 Birth weight was associated positively with gluteofemoral fat mass and inversely with 2-h postglucose insulin concentrations, a marker of insulin resistance, in young normal-weight Japanese women	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Diabetol Int	6. 最初と最後の頁 375-380
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13340-021-00543-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yokoro M, Otaki N, Yano M, Tani M, Tanino N, Fukuo K.	4. 巻 12
2. 論文標題 Associations between Dietary Variety and Frailty in Community-Dwelling Older People Who Live Alone: Gender Differences	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 J Frailty Aging	6. 最初と最後の頁 30-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miyuki Yokoro, Naoto Otaki, Megumu Yano, Tomomi Imamura, Norikazu Tanino, Keisuke Fukuo	4. 巻 15
2. 論文標題 Low Dietary Variety Is Associated with Incident Frailty in Older Adults during the Coronavirus Disease 2019 Pandemic: A Prospective Cohort Study in Japan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Nutrients	6. 最初と最後の頁 1145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/nu15051145	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasuko Fukuda, Mikako Ochi, Ryouko Kanazawa, Hiromu Nakajima, Keisuke Fukuo, Masanobu Nakai	4. 巻 15
2. 論文標題 Positive Correlation Between Changes in Serum Albumin Levels and Breakfast Non-Protein Calorie/Nitrogen Ratio in Geriatric Patients	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Clin Med Res	6. 最初と最後の頁 109-115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14740/jocmr4848PMCID: PMC9990721	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yokoro M, Otaki N, Yano M, Imamura T, Tanino N, Fukuo K	4. 巻 13
2. 論文標題 Association between asymmetric dimethylarginine and sarcopenia in community-dwelling older women	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 5510
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-023-32046-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chihiro Tanikawa, Miki Kurata, Noriko Tanizaki, Mika Takeuchi, Edlira Zere, Keisuke Fukuo, Kenji Takada	4. 巻 12
2. 論文標題 Influence of the nutritional status on facial morphology in young Japanese women	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 18557
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-022-21919-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mari Honda, Ayaka Tsuboi, Satomi Minato-Inokawa, Mika Takeuchi, Miki Kurata, Bin Wu, Tsutomu Kazumi, Keisuke Fukuo	4. 巻 12
2. 論文標題 Reduced gluteofemoral (subcutaneous) fat mass in young Japanese women with family history of type 2 diabetes: an exploratory analysis	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 12579
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-022-16890-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Satomi Minato-Inokawa, Mari Honda, Ayaka Tsuboi-Kaji, Mika Takeuchi, Kaori Kitaoka, Akiko Takenouchi, Miki Kurata, Bin Wu, Tsutomu Kazumi, Keisuke Fukuo	4. 巻 10
2. 論文標題 Higher fasting glucose, triglycerides, resting pulse rate and high-sensitivity C reactive protein in adipose insulin-resistant but normal weight young Japanese women	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 BMJ Open Diabetes Res Care	6. 最初と最後の頁 e003013
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjdr-2022-003013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Satomi Minato-Inokawa, Asami Hashiguchi, Mari Honda, Ayaka Tsuboi-Kaji, Mika Takeuchi, Kaori Kitaoka, Miki Kurata, Bin Wu, Tsutomu Kazumi, Keisuke Fukuo	4. 巻 10
2. 論文標題 Weight trajectories since birth, current body composition and metabolic traits in young, normal-weight Japanese women with high percentage body fat	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 BMJ Open Diabetes Res Care	6. 最初と最後の頁 e003045
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjdr-2022-003045	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mari Honda, Ayaka Tsuboi, Satomi Minato-Inokawa, Mika Takeuchi, Miki Kurata, Tomofumi Takayoshi, Yushi Hirota, Bin Wu, Tsutomu Kazumi, Keisuke Fukuo	4. 巻 31
2. 論文標題 Associations of Infant Feeding with Body Composition and Cardiometabolic Health in Young Female University Students	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Womens Health	6. 最初と最後の頁 1358-1363
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/jwh.2021.0464	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mari Honda, Ayaka Tsuboi, Satomi Minato-Inokawa, Mika Takeuchi, Miki Kurata, Tomofumi Takayoshi, Yushi Hirota, Bin Wu, Tsutomu Kazumi, Keisuke Fukuo	4. 巻 2022
2. 論文標題 Serum Orosomucoid Is Associated with Serum Adiponectin, Adipose Tissue Insulin Resistance Index, and a Family History of Type 2 Diabetes in Young Normal Weight Japanese Women	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Diabetes Res	6. 最初と最後の頁 7153238
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1155/2022/7153238	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mika Takeuchi, Mari Honda, Ayaka Tsuboi, Satomi Minato-Inokawa, Miki Kurata, Bin Wu, Tsutomu Kazumi, Keisuke Fukuo	4. 巻 3
2. 論文標題 Weight Trajectory Since Birth, Current Body Composition, Dietary Intake, and Glucose Tolerance in Young Underweight Japanese Women	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Womens Health Rep	6. 最初と最後の頁 215-221
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/whr.2021.0127	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mari Honda, Ayaka Tsuboi, Satomi Minato-Inokawa, Kaori Kitaoka, Mika Takeuchi, Megumu Yano, Miki Kurata, Bin Wu, Tsutomu Kazumi, Keisuke Fukuo	4. 巻 13
2. 論文標題 Association of family history of type 2 diabetes with blood pressure and resting heart rate in young normal weight Japanese women	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Diabetol Int	6. 最初と最後の頁 220-225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13340-021-00525-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Naoto Otaki, Miyuki Yokoro, Megumu Yano, Tomomi Imamura, Michiko Akita, Norikazu Tanino, Keisuke Fukuo	4. 巻 22
2. 論文標題 Social contact impacts physical activity and sedentary behavior among older adults in Japan due to COVID-19	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 BMC Geriatr	6. 最初と最後の頁 491
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12877-022-03188-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 菅原 徳瑛(大阪医科薬科大学 第二内科), 太田 和寛, 森 洋介, 田中 宏典, 箱田 明俊, 岩坪 太郎, 平田 有基, 能田 貞治, 柿本 一城, 竹内 利寿, 樋口 和秀, 西川 浩樹	4. 巻 12
2. 論文標題 薬剤性小腸粘膜障害の診断におけるバルーン内視鏡とカプセル内視鏡の役割	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 消化器・肝臓内科	6. 最初と最後の頁 610-616
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村 志郎(大阪医科薬科大学 第二内科), 宮崎 孝子, 柿本 一城, 平田 有基, 碓山 直邦, 小柴 良司, 峠 英樹, 中沢 啓, 川崎 裕香, 木下 直彦, 沼 圭次朗, 清水 光, 西田 光志, 西川 浩樹	4. 巻 12
2. 論文標題 クローン病に伴う短腸症候群への対応・治療法はどのようなものがあるのか	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 消化器・肝臓内科	6. 最初と最後の頁 442-450
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐野村 誠(北摂総合病院 消化器内科), 坂口 奈々子, 疋田 千晶, 辻 沙也佳, 内海 麻衣, 富永 真央, 西川 知宏, 碓山 直邦, 西谷 仁, 柿本 一城, 中村 志郎, 西川 浩樹	4. 巻 57
2. 論文標題 非中毒性巨大結腸症を呈した大腸型Crohn病の1例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 胃と腸	6. 最初と最後の頁 1490-1493
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村 志郎, 宮崎 孝子, 柿本 一城, 平田 有基, 碓山 直邦, 小柴 良司, 峠 英樹, 中沢 啓, 川崎 裕香, 木下 直彦, 沼 圭次朗, 山口 亮介, 清水 光, 西田 光志, 西川 浩樹	4. 巻 79
2. 論文標題 【潰瘍性大腸炎内科診療の新時代】基本治療薬と投与上の注意点	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 医学と薬学	6. 最初と最後の頁 1469-1477
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉島 涼音, 大濱 日出子, 西川 浩樹, 安岡 秀高, 横濱 桂介, 後 昂佑, 松井 将太, 西川 知宏, 土本 雄 亮, 朝井 章, 福西 新弥, 津田 泰宏, 樋口 和秀	4. 巻 63
2. 論文標題 肝細胞癌との鑑別診断に苦慮した肝内脾症の一例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 肝臓	6. 最初と最後の頁 456-462
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大濱 日出子(大阪医科薬科大学 第2内科), 西川 浩樹, 後 昂佑, 松井 将太, 西川 知宏, 中村 憲, 横濱 桂介, 土本 雄亮, 朝井 章, 福西 新弥, 竹下 篤, 津田 泰宏, 樋口 和秀	4. 巻 63
2. 論文標題 臨床上前原発と考えられたgerminal center B-cell-like typeのびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の一例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 肝臓	6. 最初と最後の頁 381-387
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西川 浩樹	4. 巻 85
2. 論文標題 概論 JSHサルコペニア判定基準第2版 判定基準改訂の経緯と解説	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 肝胆膵	6. 最初と最後の頁 137-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 名越 澄子, 赤羽 たけみ, 小木曾 智美, 坂牧 僚, 徳本 良雄, 華井 竜徳, 西口 修平, 小川 浩司, 川口 巧, 神田 達郎, 西川 浩樹, 波多野 悦朗	4. 巻 Supplement
2. 論文標題 高齢者肝硬変診療ガイドライン(解説)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本高齢消化器病学会誌	6. 最初と最後の頁 1-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松井 将太(大阪医科薬科大学 内科学第II), 西川 浩樹, 後 昂佑, 小倉 健, 竹内 利寿, 後藤 昌弘, 中村 志郎, 柿本 一城, 宮崎 孝子, 安岡 秀高, 横濱 桂介, 大濱 日出子, 朝井 章, 福西 新弥, 樋口 和秀	4. 巻 24
2. 論文標題 消化器疾患におけるSARC-F質問票を用いた後方視的比較検討	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本高齢消化器病学会誌	6. 最初と最後の頁 108-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 脇本景子, 横路三有紀, 大倉健太郎, 岸田恵津	4. 巻 30
2. 論文標題 小学校高学年の児童の生きる力と家庭及び学校における食行動・態度との関連	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 健康教育学会誌	6. 最初と最後の頁 283-292
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 設樂馨, &#134071;井美奈子, 横路三有紀	4. 巻 8
2. 論文標題 漢字・食育融合教材の開発ー持続可能な学習機会の創出を目指して	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 武庫川女子大学 学校教育センター紀要	6. 最初と最後の頁 43-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okumura S, Konishi Y, Narukawa M, Sugiura Y, Yoshimoto S, Arai Y, Sato S, Yoshida Y, Tsuji S, Uemura K, Wakita M, Matsudaira T, Matsumoto T, Kawamoto S, Takahashi A, Itatani Y, Miki H, Takamatsu M, Obama K, Takeuchi K, Suematsu M, Ohtani N, Fukunaga Y, Ueno M, Sakai Y, Nagayama S, Hara E.	4. 巻 12
2. 論文標題 Gut bacteria identified in colorectal cancer patients promote tumourigenesis via butyrate secretion.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Commun	6. 最初と最後の頁 5674
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-021-25965-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fudaba M, Kamiya T, Tachibana D, Koyama M, and Ohtani N	4. 巻 9
2. 論文標題 Bioinformatics Analysis of Oral, Vaginal, and Rectal Microbial Profiles during Pregnancy: A Pilot Study on the Bacterial Co-Residence in Pregnant Women.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Microorganisms	6. 最初と最後の頁 1027
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/microorganisms9051027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohtani N and Hara E	4. 巻 112
2. 論文標題 Gut-liver axis-mediated mechanism of liver cancer: A special focus on the role of gut microbiota.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Sci	6. 最初と最後の頁 cas.15142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.15142	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Enomoto H., Ueno Y., Hiasa Y., Nishikawa H., Hige S., Takikawa Y., Taniai M., Ishikawa T., Yasui K., Takaki A., Takaguchi K., Ido A., Kurosaki M., Kanto T., Nishiguchi S	4. 巻 56
2. 論文標題 Japan Etiology of Liver Cirrhosis Study Group in the 54th Annual Meeting of JSH. The transition in the etiologies of hepatocellular carcinoma-complicated liver cirrhosis in a nationwide survey of Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Gastroenterol	6. 最初と最後の頁 158-167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tamori A, Kimura K., Kioka K., Enomoto H., Odagiri N., Kozuka R., Uchida-Kobayashi S., Enomoto M., Kawada N., Mizokami M	4. 巻 93
2. 論文標題 Outcome of nucleos(t)ide analog intervention in patients with preventive or on-demand therapy for hepatitis B virus reactivation.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Med Virol.	6. 最初と最後の頁 3679-3687
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishikawa H., Yoh K., Enomoto H., Ikeda N., Takashima T., Aizawa N., Nishimura T., Nishiguchi S., Iijima H	4. 巻 35
2. 論文標題 Predictors for Grip Strength Loss in Patients With Chronic Liver Diseases	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 In Vivo	6. 最初と最後の頁 363-371
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi N., Iijima H., Tada T., Shibata Y., Nishimura T., Kumada T., Hashimoto M., Higashiura A., Yoshida M., Nishimura J., Aizawa N., Ikeda N., Takashima T., Takata R., Nishikawa H., Iwata Y., Enomoto H., Hirota S., Hatano E	4. 巻 47
2. 論文標題 A New Ultrasonographic "Fluttering Sign" for Hepatic Hemangioma.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ultrasound Med Biol.	6. 最初と最後の頁 941-946
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakano C., Nishimura T., Tada T., Yoshida M., Takashima T., Aizawa N., Ikeda N., Nishikawa H., Enomoto H., Hatano E., Yano H., Hirota S., Hachiya H., Iijima H	4. 巻 51
2. 論文標題 Severity of liver fibrosis using shear wave elastography is influenced by hepatic necroinflammation in chronic hepatitis patients, but not in cirrhotic patients	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Hepatol Res	6. 最初と最後の頁 436-444
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miyamoto Y., Enomoto H., Nishikawa H., Nishimura T., Iwata Y., Nishiguchi S., Iijima H	4. 巻 35
2. 論文標題 Association of the Modified ALBI Grade With Endoscopic Findings of Gastroesophageal Varices	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 In Vivo	6. 最初と最後の頁 1163-1168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishikawa H., Yoh K., Enomoto H., Ikeda N., Takashima T., Aizawa N., Nishimura T., Nishiguchi S., Iijima H.	4. 巻 10
2. 論文標題 Reduced grip strength is associated with progression of depressive status in chronic liver diseases	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ann Palliat Med.	6. 最初と最後の頁 3976-3987
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishikawa H., Yoh K., Enomoto H., Nishimura T., Nishiguchi S., Iijima H.	4. 巻 9
2. 論文標題 Combined grip strength and calf circumference as a useful prognostic system in patients with liver diseases: a large cohort study.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ann Transl Med	6. 最初と最後の頁 624
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishikawa H., Yoh K., Enomoto H., Nishimura T., Nishiguchi S., Iijima H.	4. 巻 51
2. 論文標題 Clinical impact of the finger-circle test in patients with liver diseases	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Hepatol Res	6. 最初と最後の頁 603-613
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tada T., Nishimura T., Matono T., Yoshida M., Yuri M., Fujiwara A., Yuri Y., Takashima T., Aizawa N., Ikeda N., Enomoto H., Kumada T., Iijima H	4. 巻 51
2. 論文標題 Association of liver stiffness and steatosis with hepatocellular carcinoma development in patients with hepatitis C virus infection who received direct-acting antiviral therapy and achieved sustained virological response	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Hepatol Res	6. 最初と最後の頁 860-869
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishikawa H., Yoh K., Enomoto H., Nishimura T., Nishiguchi S., Iijima H	4. 巻 35
2. 論文標題 Factors Associated With Longitudinal QOL Change in Patients With Chronic Liver Diseases	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 In Vivo	6. 最初と最後の頁 2451-2456
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishikawa H., Yoh K., Enomoto H., Nishimura T., Nishiguchi S., Iijima H.	4. 巻 11
2. 論文標題 Dynapenia Rather Than Sarcopenia Is Associated with Metabolic Syndrome in Patients with Chronic Liver Diseases	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Diagnostics	6. 最初と最後の頁 1262
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Nishikawa H., Enomoto H., Nishiguchi S., Iijima H	4. 巻 22
2. 論文標題 Sarcopenic Obesity in Liver Cirrhosis: Possible Mechanism and Clinical Impact	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci.	6. 最初と最後の頁 1917
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Michiko Akita, Naoto Otaki, Miyuki Yokoro, Megumu Yano, Norikazu Tanino, Keisuke Fukuo	4. 巻 24
2. 論文標題 Relationship Between Social Activity and Frailty in Japanese Older Women During Restriction on Outings due to COVID-19	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Can Geriatr J.	6. 最初と最後の頁 320-324
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5770/cgj.24.507	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Satomi Minato-Inokawa, Ayaka Tsuboi, Mika Takeuchi, Kaori Kitaoka, Megumu Yano, Miki Kurata, Tsutomu Kazumi, Keisuke Fukuo	4. 巻 12
2. 論文標題 Associations of serum transthyretin with triglyceride in non-obese elderly Japanese women independently of insulin resistance, HDL cholesterol, and adiponectin	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Diabetol Int	6. 最初と最後の頁 405-411
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13340-021-00496-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukuda Yasuko, Ochi Mikako, Kanazawa Ryouko, Nakajima Hiromu, Fukuo Keisuke, Nakai Masanobu	4. 巻 15
2. 論文標題 Nutritional Interpretation of Hospital Diets for Elderly Patients With Chronic Diseases and Analysis of Factors Influencing Actual Intakes	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Medicine Research	6. 最初と最後の頁 321 ~ 327
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yokoro Miyuki, Otaki Naoto, Imamura Tomomi, Tanino Norikazu, Fukuo Keisuke	4. 巻 26
2. 論文標題 Association between social network and dietary variety among community-dwelling older adults	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Public Health Nutrition	6. 最初と最後の頁 2441 ~ 2449
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukuda Yasuko, Ochi Mikako, Kanazawa Ryouko, Nakajima Hiromu, Fukuo Keisuke, Nakai Masanobu	4. 巻 15
2. 論文標題 Positive Correlation Between Changes in Serum Albumin Levels and Breakfast Non-Protein Calorie/Nitrogen Ratio in Geriatric Patients	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Medicine Research	6. 最初と最後の頁 109 ~ 115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Minato-Inokawa Satomi, Hayashida Yuuna, Honda Mari, Tsuboi-Kaji Ayaka, Takeuchi Mika, Kitaoka Kaori, Kurata Miki, Wu Bin, Kazumi Tsutomu, Fukuo Keisuke	4. 巻 13
2. 論文標題 Association between serum leptin concentrations and homeostasis model assessment-insulin resistance of 2.5 and higher in normal weight Japanese women	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yokoro Miyuki, Otaki Naoto, Yano Megumu, Imamura Tomomi, Tanino Norikazu, Fukuo Keisuke	4. 巻 15
2. 論文標題 Low Dietary Variety Is Associated with Incident Frailty in Older Adults during the Coronavirus Disease 2019 Pandemic: A Prospective Cohort Study in Japan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Nutrients	6. 最初と最後の頁 1145 ~ 1145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Minato-Inokawa Satomi, Tsuboi-Kaji Ayaka, Honda Mari, Takeuchi Mika, Kitaoka Kaori, Kurata Miki, Wu Bin, Kazumi Tsutomu, Fukuo Keisuke	4. 巻 13
2. 論文標題 Associations of alanine aminotransferase/aspartate aminotransferase with insulin resistance and -cell function?in women	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yokoro Miyuki, Otaki Naoto, Yano Megumu, Imamura Tomomi, Tanino Norikazu, Fukuo Keisuke	4. 巻 13
2. 論文標題 Association between asymmetric dimethylarginine and sarcopenia in community-dwelling older women	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wu Bin, Huang Jingshan, Zhang Lihua, Kasukurthi Mohan Vamsi, Huang Fangwan, Bian Jiang, Fukuo Keisuke, Kazumi Tsutomu	4. 巻 145
2. 論文標題 An integrative approach to investigate the association among high-sensitive C-reactive protein, body fat mass distribution, and other cardiometabolic risk factors in young healthy women	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Methods	6. 最初と最後の頁 60 ~ 66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Ikue, Yano Yukihiro, Mori Masahide, Manabe Satoru, Fukuo Keisuke	4. 巻 14
2. 論文標題 Impact of serum eicosapentaenoic acid/arachidonic acid ratio on overall survival in lung cancer patients treated with pembrolizumab: a pilot study	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Enomoto Hirayuki, Aizawa Nobuhiro, Ikeda Naoto, Takeshima Tomoyuki, Yuri Yukihiisa, Okamoto Mamiko, Yoshioka Ryota, Kawata Shoki, Yoshihara Kohei, Ota Shogo, Nakao Ryota, Shiomi Hideyuki, Nishimura Takashi, Iijima Hiroko.	4. 巻 37
2. 論文標題 Association of PNPLA3 SNP With the Development of HBV-related Hepatocellular Carcinoma.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 In Vivo	6. 最初と最後の頁 763-770.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ENOMOTO HIRAYUKI, NISHIMURA TAKASHI, FUKUNUSHI SHINYA, SHIOMI HIDEYUKI, IIJIMA HIROKO.	4. 巻 37
2. 論文標題 Determination of the possible target genes of hepatoma-derived growth factor in hepatoma cells.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 In Vivo	6. 最初と最後の頁 1975-1979
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Enomoto Hirayuki, Yuri Yukihiisa, Nishimura Takashi, Ikeda Naoto, Takashima Tomoyuki, Aizawa Nobuhiro, Okamoto Mamiko, Yoshihara Kohei, Yoshioka Ryota, Kawata Shoki, Kawase Yuta, Nakano Ryota, Shiomi Hideyuki, Fukunishi Shinya, Shinzaki Shinichiro, Iijima Hiroko.	4. 巻 59
2. 論文標題 A low geriatric nutritional risk index is associated with low muscle volume and a poor prognosis among cirrhotic patients.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Medicina	6. 最初と最後の頁 2099
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi Natsuko, Tada Toshifumi, Nishimura Takashi, Matono Tomomitsu, Yuri Yukihiisa, Takashima Tomoyuki, Aizawa Nobuhiro, Ikeda Naoto, Fukunishi Shinya, Hashimoto Mariko, Ohyanagi Mitsumasa, Enomoto Hirayuki, Iijima Hiroko.	4. 巻 54
2. 論文標題 Metabolic dysfunction associated steatotic liver disease criteria may underestimate the number of lean female nonalcoholic fatty liver disease patients with significant liver fibrosis.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Hepatology Research	6. 最初と最後の頁 429-438
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onishi S, Fukuda A, Matsui M, Ushiro K, Nishikawa T, Asai A, Kim SK, Nishikawa H.	4. 巻 15
2. 論文標題 Body Composition Analysis in Patients with Metabolic Dysfunction-Associated Fatty Liver Disease.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Nutrients	6. 最初と最後の頁 3878
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishikawa H, Kim SK, Asai A	4. 巻 25
2. 論文標題 Body Composition in Chronic Liver Disease.	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci.	6. 最初と最後の頁 964
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishikawa H, Kim SK, Asai A.	4. 巻 38
2. 論文標題 Liver Carcinogenesis Suppression in Chronic Hepatitis B in the Nucleoside Analogues Era.	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 In Vivo	6. 最初と最後の頁 40-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishikawa T, Matsui M, Onishi S, Ushiro K, Asai A, Kim SK, Nishikawa H.	4. 巻 25
2. 論文標題 Long-Term Outcomes after Switching to Tenofovir Alafenamide in Patients with Chronic Hepatitis B.	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci	6. 最初と最後の頁 2245
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Omori Y, Oka N, Suzuki Y, Shima M, Nishikawa H, Tsuzuki K.	4. 巻 7
2. 論文標題 Impact of the Coronavirus Disease 2019 Pandemic on Medical Practices in Awaji Island	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 JMA Journal	6. 最初と最後の頁 61-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ota K, Takeuchi T, Higuchi K, Sasaki S, Mori Y, Tanaka H, Hakoda A, Sugawara N, Iwatsubo T, Nishikawa H	4. 巻 105
2. 論文標題 Frontiers in Endoscopic Treatment for Gastroesophageal Reflux Disease.	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Digestion	6. 最初と最後の頁 5-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kanadani T, Ogura T, Ueno S, Okuda A, Nishioka N, Nakamura J, Yamada M, Uba Y, Tomita M, Hattori N, Sakamoto J, Nishikawa H	4. 巻 12
2. 論文標題 Transluminar antegrade drill dilation technique for hepaticojejunostomy stricture with cholangioscopic evaluation (with video)	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Endosc Int Open	6. 最初と最後の頁 E181-E187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakamoto J, Ogura T, Ueno S, Okuda A, Nishioka N, Hakoda A, Uba Y, Tomita M, Hattori N, Nakamura J, Bessho K, Nishikawa H	4. 巻 12
2. 論文標題 Evaluation of exclusive internal endoscopic drainage for complex biloma with transluminar and transpapillary stenting	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Endosc Int Open	6. 最初と最後の頁 E262-E268
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakajima N, Takeuchi T, Hokari R, Narimatsu K, Iijima K, Nishikawa H, et al..	4. 巻 74
2. 論文標題 Background factors of idiopathic peptic ulcers and optimal treatment methods: a multicenter retrospective Japanese study.	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 J Clin Biochem Nutr.	6. 最初と最後の頁 82-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onishi S, Fukuda A, Matsui M, Ushiro K, Nishikawa T, Asai A, Kim SK, Nishikawa H	4. 巻 15
2. 論文標題 Body Composition Analysis in Patients with Metabolic Dysfunction-Associated Fatty Liver Disease.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Nutrients	6. 最初と最後の頁 3878
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsui M, Asai A, Ushiro K, Onishi S, Nishikawa T, Ohama H, Tsuchimoto Y, Kim SK, Nishikawa H.	4. 巻 14
2. 論文標題 Prognostic Nutritional Index Correlates with Liver Function and Prognosis in Chronic Liver Disease Patients.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Diagnostics	6. 最初と最後の頁 49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onishi S, Fukuda A, Matsui M, Ushiro K, Nishikawa T, Asai A, Kim SK, Nishikawa H.	4. 巻 15
2. 論文標題 Association between the Suita Score and Body Composition in Japanese Adults: A Large Cross-Sectional Study.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Nutrients	6. 最初と最後の頁 4816
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsui M, Fukuda A, Onishi S, Ushiro K, Nishikawa T, Asai A, Kim SK, Nishikawa H.	4. 巻 15
2. 論文標題 Insulin Resistance: A Marker for Fat-to-Lean Body Composition in Japanese Adults.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Nutrients	6. 最初と最後の頁 4724
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsui M, Asai A, Ushiro K, Onishi S, Nishikawa T, Yokohama K, Ohama H, Tsuchimoto Y, Kim SK, Nishikawa H.	4. 巻 13
2. 論文標題 Accurate SARC-F Score in Patients with Liver Disease.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Diagnostics	6. 最初と最後の頁 1959
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Numa K, Kakimoto K, Tanaka Y, Mizuta N, Kinoshita N, Nakazawa K, Koshiba R, Hirata Y, Ota K, Miyazaki T, Nakamura S, Higuchi K, Nishikawa H.	4. 巻 12
2. 論文標題 Efficacy of Switching to Adalimumab for Maintenance of Remission Following Induction Therapy with Tacrolimus in Patients with Ulcerative Colitis.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 J Clin Med.	6. 最初と最後の頁 6699
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Yuki, Kamiya Tomonori, Yano Megumu, Huyen Vu Thuong, Oishi Masahiro, Nishio Miki, Suzuki Akira, Sunami Kishiko, Ohtani Naoko	4. 巻 11
2. 論文標題 Oral Microbial Profile Analysis in Patients with Oral and Pharyngeal Cancer Reveals That Tumoral Fusobacterium nucleatum Promotes Oral Cancer Progression by Activating YAP	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Microorganisms	6. 最初と最後の頁 2957 ~ 2957
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/microorganisms11122957	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Ngo Hanh Vinh, Thanh Le Thuy Thi, Vu Hieu Ngoc, Hoang Hai, Ikenaga Hiroko, Sato-Matsubara Misako, Uchida-Kobayashi Sawako, Urushima Hayato, Van Nguyen Khanh, Nguyen Ha Thi, Shinkawa Hiroji, Kubo Shoji, Ohtani Naoko, Enomoto Masaru, Tamori Akihiro, Kawada Norifumi	4. 巻 24
2. 論文標題 Poorly Differentiated Hepatocellular Carcinoma Cells Avoid Apoptosis by Interacting with T Cells via CD40?CD40L Linkage	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 The American Journal of Pathology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ajpath.2024.03.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Mori AKino, Umezawa Masakazu, Okubo Kyohei, Kamiya Tomonori, Kamimura Masao, Ohtani Naoko, Soga Kohei	4. 巻 13
2. 論文標題 Visualization of hydrocarbon chain length and degree of saturation of fatty acids in mouse livers by combining near-infrared hyperspectral imaging and machine learning	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-023-47565-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takasugi Masaki, Ohtani Naoko, Takemura Kazuaki, Emrich Stephan, Zakusilo Frances T., Yoshida Yuya, Kutsukake Nobuyuki, Mariani John N., Windrem Martha S., Chandler-Militeello Devin, Goldman Steven A., Satoh Junko, Ito Shinji, Seluanov Andrei, Gorbunova Vera	4. 巻 42
2. 論文標題 CD44 correlates with longevity and enhances basal ATF6 activity and ER stress resistance	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 113130 ~ 113130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2023.113130	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takasugi Masaki, Yoshida Yuya, Nonaka Yoshiki, Ohtani Naoko	4. 巻 51
2. 論文標題 Gene expressions associated with longer lifespan and aging exhibit similarity in mammals	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Nucleic Acids Research	6. 最初と最後の頁 7205 ~ 7219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/nar/gkad544	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kawamoto Shimpei, Uemura Ken, Horii Nozomi, Takayasu Lena, Konishi Yusuke, Katoh Kazutaka, Matsumoto Tomonori, Suzuki Masae, Sakai Yusuke, Matsudaira Tatsuyuki, Adachi Takahiro, Ohtani Naoko, Standley Daron M., Suda Wataru, Fukuda Shinji, Hara Eiji	4. 巻 25
2. 論文標題 Bacterial induction of B cell senescence promotes age-related changes in the gut microbiota	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Nature Cell Biology	6. 最初と最後の頁 865 ~ 876
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41556-023-01145-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takasugi Masaki, Yoshida Yuya, Hara Eiji, Ohtani Naoko	4. 巻 290
2. 論文標題 The role of cellular senescence and SASP in tumour microenvironment	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The FEBS Journal	6. 最初と最後の頁 1348 ~ 1361
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/febs.16381	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takasugi Masaki, Yoshida Yuya, Ohtani Naoko	4. 巻 16
2. 論文標題 Cellular senescence and the tumour microenvironment	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Molecular Oncology	6. 最初と最後の頁 3333 ~ 3351
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1878-0261.13268	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kamiya Tomonori, Ohtani Naoko	4. 巻 34
2. 論文標題 The role of immune cells in the liver tumor microenvironment: an involvement of gut microbiota-derived factors	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Immunology	6. 最初と最後の頁 467 ~ 474
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxac020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ohtani Naoko	4. 巻 42
2. 論文標題 The roles and mechanisms of senescence-associated secretory phenotype (SASP): can it be controlled by senolysis?	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Inflammation and Regeneration	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s41232-022-00197-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ohtani Naoko, Kamiya Tomonori, Kawada Norifumi	4. 巻 7
2. 論文標題 Recent updates on the role of the gut-liver axis in the pathogenesis of NAFLD/NASH, HCC, and beyond	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Hepatology Communications	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/HCG.0000000000000241	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計103件 (うち招待講演 31件 / うち国際学会 29件)

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 腸内細菌叢と肥満関連肝がん; ~ Leaky gutによる腸内細菌関連物質の肝移行の関与 ~
3. 学会等名 第26回腸内細菌学会学術集会 シンポジウム2: マイクロバイオームの制御と健康
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 肥満と肝がん; 腸内細菌叢成分による肝がん促進的微小環境の形成
3. 学会等名 第8回がん代謝研究会 in 佐渡
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 ガレクチン3による骨格筋内異所性脂肪の形成促進; ~シングルセル解析を利用した分化異常の検出~
3. 学会等名 第8回日本筋学会学術集会 シンポジウム7: 健康長寿の実現に向けたサルコペニア/フレイル研究の新展開
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 肥満による肝がんの進展メカニズム ~腸内細菌関連因子の関与~
3. 学会等名 第2回バイオインダストリー協会 機能性食品研究会講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Naoko Ohtani
2. 発表標題 Hepatic transfer of gut microbial component promotes obesity-associated liver cancer progression
3. 学会等名 日本学術振興会主催の第23回北東アジアシンポジウム(テーマ:細胞老化)(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Naoko Ohtani
2. 発表標題 The role of hepatic stellate cells in tumor microenvironment of obesity-associated liver cancer
3. 学会等名 The 2nd Osaka Metropolitan University International Liver Forum(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Naoko Ohtani
2. 発表標題 Hepatic transfer of gut microbial component promotes obesity-associated liver cancer progression
3. 学会等名 第81回日本癌学会学術総会Symposium 5 Metabolic alteration in the Tumor microenvironment
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 細胞老化とSASP：その誘導機構とがん微小環境における役割
3. 学会等名 第48回日本臓器保存生物医学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Naoko Ohtani
2. 発表標題 Obesity-associated liver cancer: the role of hepatic translocation of gut microbial factors
3. 学会等名 IHMC KOBE 2022 The International Human Microbiome Consortium Congress（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Naoko Ohtani
2. 発表標題 The role and mechanism of SASP in tumor microenvironment of obesity-associated liver cancer
3. 学会等名 The 12th AACR-JCA Joint Conference: Breakthroughs in Cancer Research: Translating Knowledge into Practice（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 肥満と肝がん ~腸内細菌関連物質の肝移行とがん微小環境形成~
3. 学会等名 第35回 日本バイオセラピー学会学術集会総会モーニングセミナー (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 腸内細菌叢と肥満関連肝がん~Leaky gutによる腸内細菌関連物質の肝移行の関与~
3. 学会等名 第54回無菌生物ノートバイオロジー学会 シンポジウム 「常在細菌と宿主免疫の新たな展開」 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Naoko Ohtani
2. 発表標題 Gut-liver Axis-Mediated Mechanism of Obesity-Associated Hepatocellular Carcinoma Progression
3. 学会等名 Asian Pacific Association for the Study of the Liver (APASL) 2023 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Naoko Ohtani
2. 発表標題 Intestinal microbiome and liver cancer
3. 学会等名 USJCMSP 2023 International Conference on Emerging Infectious Diseases Cancer Panel (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 吉田優矢、高杉征樹、野中允幾、大谷直子
2. 発表標題 比較生物学的アプローチから示される加齢にともなう遺伝子発現変化とその生体における有益性
3. 学会等名 NGS EXPO 2022
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 吉田優矢、高杉征樹、野中允幾、大谷直子
2. 発表標題 加齢にともなう遺伝子発現変化は長寿の指標として有益なものである：比較生物学的アプローチより
3. 学会等名 第45回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山岸良多、武藤芳美、河田則文、大谷直子
2. 発表標題 IL-33によるNASH関連肝がん促進機構
3. 学会等名 第59回日本肝臓学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ryota Yamagishi, Fumitaka Kamachi, Tomonori Kamiya, Yi Cheng, Yoshiki Nonaka, Norifumi Kawada, Susumu Nakae, Eiji Hara, Naoko Ohtani
2. 発表標題 IL-33released from senescent hepatic stellate cell promotes obesity-associated hepatocellular carcinoma
3. 学会等名 APASL Oncology 2022 Single Topic conference in Takamatsu
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ryota Yamagishi, Fumitaka Kamachi, Yi Cheng, Norifumi Kawada, Eiji Hara, Naoko Ohtani
2. 発表標題 IL-33released from senescent hepatic stellate cell promotes obesity-associated hepatocellular carcinoma
3. 学会等名 第81回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山岸良多、蒲池史卓、神谷知憲、高杉征樹、程韓、野中允幾、河田則文、中江進、原英二、大谷直子
2. 発表標題 がん微小環境における細胞老化とSASPの役割：ガスダーミンDを介するSASP因子の放出が肥満関連肝がんを促進させる
3. 学会等名 日本生理学会第100回記念大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Vu Thuong Huyen, Ryota Yamagishi, Naoko Ohtani
2. 発表標題 Regular exercise suppresses obesity associated liver cancer through activating Pgc-1 -Kynurenine degrading pathway
3. 学会等名 APASL Oncology 2022 Single Topic conference in Takamatsu
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Vu Thuong Huyen, Ryota Yamagishi, Naoko Ohtani
2. 発表標題 Regular exercise suppresses obesity associated liver cancer through activating Pgc-1 -Kynurenine degrading pathway
3. 学会等名 第81回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2022年



1. 発表者名 野中允幾、山岸良多、程韓、大谷直子
2. 発表標題 肥満誘導性肝がん微小環境における腫瘍促進ネットワークの複合バイオインフォマティクス解析
3. 学会等名 第81回日本癌学会学術総会(横浜)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yoshiki Nonaka, Ryota Yamagishi, Yi Cheng, Naoko Ohtani
2. 発表標題 Combined Bioinformatics on the Tumor Promoting Inter-cellular Network in Obesity-associated Liver Tumor Microenvironment
3. 学会等名 APASL Oncology 2022 Single Topic conference in Takamatsu
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 野中允幾、山岸良多、程韓、小玉尚宏、大谷直子
2. 発表標題 肥満誘導性肝がん微小環境における腫瘍促進ネットワークの複合解析
3. 学会等名 NGS EXPO 2022
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 神谷知憲, 武藤芳美, 藤井英樹, 森由史, 豊田敦, 福田真嗣, 河田則文, 大谷直子
2. 発表標題 肝性脳症発症に関わる腸内細菌の同定
3. 学会等名 第26回腸内細菌学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yi Cheng, Ryota Yamagishi, Yoshiki Nonaka, Misako Sato-Matsubara, Norifumi Kawada, and Naoko Ohtani
2. 発表標題 Non-heat-stressed method to isolate hepatic stellate cells from highly steatotic tumor-bearing liver usingCD49a
3. 学会等名 THE LIVER SINUSOID MEETING,21st ISCHS Meeting
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yi Cheng, Ryota Yamagishi, Yoshiki Nonaka, Misako Sato-Matsubara, Norifumi Kawada, and Naoko Ohtan
2. 発表標題 Non-heat-stressed method to isolate hepatic stellate cells from highly steatotic tumor-bearing liver usingCD49a
3. 学会等名 The 32nd Conference of the Asian Pacific Association Study of the Liver(APASL2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yoshimi Yukawa-Muto, Tomonori Kamiya, Norifumi Kawada, Naoko Ohtani
2. 発表標題 Identification and characterization of the gut microbial species responsible for hyperammonemia in hepatic encephalopathy from the analysis of patients administered rifaximin
3. 学会等名 IHMC KOBE 2022 ~The International Human Microbiome Consortium Congress~
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 武藤(湯川)芳美, 河田則文, 大谷直子
2. 発表標題 Rifaximin治療効果に基づく肝性脳症原因菌の同定とメカニズムの解明
3. 学会等名 日本消化器関連学会週間(JDDW)ワークショップ「消化器疾患とマイクロバイオーーム研究の新展開」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 武藤芳美, 河田則文, 大谷直子
2. 発表標題 肝性脳症における腸内細菌叢-リファキリミン非著効例における菌種の機能解析-
3. 学会等名 第108回日本消化器病学会総会 ワークショップ1
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 武藤芳美、神谷知憲、小田桐直志、小谷晃平、元山宏行、川村悦史、萩原淳司、藤井英樹、打田佐和子、榎本大、河田則文、大谷直子
2. 発表標題 肝性脳症発症に関わる腸内細菌の探索
3. 学会等名 第29回日本門脈圧亢進症学会総会 パネルディスカッション3
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 榎本平之、中村秀次、飯島 尋子
2. 発表標題 Hepatoma-derived growth factor (HDGF) の肝癌増殖における役割の検討
3. 学会等名 第108回 日本消化器病学会総会ワークショップ10:肝疾患の遺伝子解析による病態解明と臨床展開
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 榎本平之、会澤信弘、飯島 尋子
2. 発表標題 HBV感染者の線維化と発がんにおける生活習慣関連因子の関連についての検討
3. 学会等名 第58回日本肝臓学会総会シンポジウム1: ウイルス性肝疾患の完全克服とマネジメント
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 榎本平之、楊和典、飯島 尋子
2. 発表標題 肝硬変の生活の質に関する検討：サルコペニアとの関連について
3. 学会等名 第26回日本肝臓学会大会シンポジウム 5：肝硬変診療ガイドライン改訂後の診療と研究
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Enomoto H., Nishimura T., Aizawa N., Takashima T., Ikeda N., Yuri Y., Okamoto M., Yoshihara K., Yoshioka R., Kawata S., Ota S., Nakano R., Shiomi H., Iijima H
2. 発表標題 A high expression of SHROOM4 was associated with a favorable prognosis in HCC patients
3. 学会等名 APASL Oncology 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Enomoto H., Takashima T., Nishimura T., Aizawa N., Ikeda N., Yuri Y., Okamoto M., Yoshihara K., Yoshioka R., Kawata S., Ota S., Nakano R., Shiomi H., Iijima H
2. 発表標題 Etiological transitions in patients with liver cirrhosis and hepatocellular carcinoma: a single-center study from an institution located in a district with a high prevalence of viral hepatitis
3. 学会等名 APASL Oncology 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Enomoto H
2. 発表標題 Hepatoma-derived growth factor as a potential target molecule for the treatment of hepatocellular carcinoma
3. 学会等名 The Asian Pacific Association for the Study of the Liver Single Topic Conference (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Enomoto H., Aizawa N., Takashima T., Ikeda N., Yuri Y., Okamoto M., Yoshihara K., Yoshioka R., Kawata S., Ota S., Nakano R., Shiomu H., Nishimura T., Iijima H
2. 発表標題 Induction of the SHROOM4 gene as a possible negative feedback response to hepatoma-derived growth factor
3. 学会等名 The 73rd Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Osamu Yasuda, Hisayo Yasuda, Mitsuru Ohishi
2. 発表標題 Correlation of Renal Function and Muscle Mass in Young Athletes
3. 学会等名 International Society of Hypertension (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 腸内細菌叢と肝がん
3. 学会等名 第21回日本抗加齢医学会総会 シンポジウム11 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Naoko Ohtani
2. 発表標題 Gut microbial metabolites and liver cancer
3. 学会等名 The European Association for the Study of the Liver (EASL), International Liver Congress “Metabolism and cancer” Online (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 腸肝軸を介した腸内細菌成分による肝がん促進的微小環境の形成
3. 学会等名 第25回日本がん免疫学会総会シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 腸内細菌叢と肝疾患～肝性脳症～
3. 学会等名 第48回日本毒性学会学術年会 シンポジウム マイクロバイオームの最先端（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ryota Yamagishi, Fumitaka Kamachi, Tomonori Kamiya, Yoshiki Nonaka, Yoshimi Muto-Yukawa, Norifumi Kawada, Susumu Nakae, Eiji Hara and Naoko Ohtani.
2. 発表標題 Gut-liver axis-mediated mechanism of NASH-associated hepatocellular carcinoma progression
3. 学会等名 The Asian Pacific Association for the Study of the Liver (APASL) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Naoko Ohtani, Fumitaka Kamachi, Tomonori Kamiya and Ryota Yamagishi.
2. 発表標題 The Role of Gut Microbiota in Obesity-associated Liver Cancer development.
3. 学会等名 The 80th Annual meeting of JCA (日本癌学会学術総会), Symposium 12 Metabolism in Cancer. (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高田 尚輝、高杉 征樹、野中 允幾、神谷 知恵、武村 和明、佐藤 淳子、伊藤 慎二、中村 博亮、上住 聡芳、大谷 直子
2. 発表標題 複合オミックス解析によるサルコペニア肥満における骨格筋内異所性脂肪形成の起源及び誘因の解明
3. 学会等名 第36回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 細胞老化とSASP：その誘導機構と生体における役割
3. 学会等名 第53回日本動脈硬化学術集会・総会 シンポジウム3：老化と代謝（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Naoko Ohtani
2. 発表標題 The role of gut microbiota in obesity-associated liver cancer development
3. 学会等名 The 50th Annual Meeting of the Japanese Society for Immunology (日本免疫学会学術集会), Symposium SY-1 Systemic organ interactions in health and disease (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Naoko Ohtani
2. 発表標題 The role and mechanism of SASP in tumor microenvironment of obesity-associated liver cancer.
3. 学会等名 The 6th International Cell Senescence Association (ICSA) Confetence, (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 肥満と肝がん ～腸内細菌関連物質の肝移行とがん微小環境形成～
3. 学会等名 第42回日本肥満学会・第39回日本肥満症治療学会学術集会 シンポジウム6：肥満とがん 分子メカニズムから疫学まで（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Naoko Ohtani
2. 発表標題 Gut-liver axis-mediated mechanism of SASP in tumor microenvironment of obesity-associated liver cancer
3. 学会等名 Keystone Symposia, “Cancer: Aging on the Driver’s seat”（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 榎本平之、西口修平、飯島尋子
2. 発表標題 Sequential療法のHBs抗原とHBcr抗原低下に関する検討
3. 学会等名 第107回日本消化器病学会シンポジウム9：肝発癌抑制を目指したB型肝炎の最新治療
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西川浩樹、榎本平之、飯島尋子
2. 発表標題 慢性肝疾患患者における握力の低下はうつ状態増悪の危険因子である
3. 学会等名 第107回日本消化器病学会総会ワークショップ7：消化器疾患とサルコペニア：診断，治療と予後
4. 発表年 2021年



1. 発表者名 榎本平之、西口修平、飯島尋子
2. 発表標題 Sequential療法の治療効果関連因子に関する検討.
3. 学会等名 第57回日本肝臓学会総会シンポジウム2 : B型肝炎ウイルス診療の現状と課題)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 榎本平之、西口修平、飯島尋子
2. 発表標題 抗ウイルス療法の治療効果と肝発がんに関する検討.
3. 学会等名 第44回日本肝臓学会西部会シンポジウム3 : HBs 抗原消失 , 肝発がん抑制を目指した B 型肝炎治療の現状と展開)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 楊和典、榎本平之
2. 発表標題 サルコペニア・肝硬変の要素と健康関連QOL・精神状態の関連性について.
3. 学会等名 第44回日本肝臓学会西部会シンポジウム 5 : 肝疾患における臓器連関の役割)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 由利幸久、榎本平之、飯島尋子
2. 発表標題 C型肝炎ウイルスSVR後の、食道胃静脈瘤の長期経過に関する検討.
3. 学会等名 第44回日本肝臓学会西部会シンポジウム 6 : 門脈圧亢進症の病態評価と可逆性・不可逆性)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 会澤信弘、榎本平之、飯島尋子
2. 発表標題 自己免疫性肝炎軽症例の治療とMAFLD影響
3. 学会等名 第44回日本肝臓学会西部会シンポジウム 6：門脈圧亢進症の病態評価と可逆性・不可逆性
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 会澤信弘、榎本平之、飯島尋子
2. 発表標題 自己免疫性肝炎軽症例の治療とMAFLD影響
3. 学会等名 第44回日本肝臓学会西部会シンポジウム 9：自己免疫性肝疾患の温故知新
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 榎本平之、西口修平、飯島尋子
2. 発表標題 がん細胞を取り巻く微小環境の重要性 担癌モデル実験からの学び
3. 学会等名 第44回日本肝臓学会西部会シンポジウム10：がん微小環境と肝細胞癌の発癌・進展機構
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Enomoto H., Takashima T., Aizawa N., Ikeda N., Yuri Y., Fujiwara A., Yoshihara K., Yoshioka R., Kawata S., Ota S., Nakano R., Shiomi H., Nishimura T., Iijima H
2. 発表標題 Possible association of ZNF641 with the prognosis of hepatocellular carcinoma.
3. 学会等名 The 72nd Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD2021) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Enomoto H., Takashima T., Aizawa N., Ikeda N., Yuri Y., Fujiwara A., Yoshihara K., Yoshioka R., Kawata S., Ota S., Nakano R., Shiomi H., Nishimura T., Iijima H.
2. 発表標題 Possible involvement of ZNF641 with the prognosis of hepatocellular carcinoma.
3. 学会等名 The Asian Pacific Association for the Study of the Liver Single Topic Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Enomoto H., Takashima T., Aizawa N., Ikeda N., Yuri Y., Fujiwara A., Yoshihara K., Yoshioka R., Kawata S., Ota S., Nakano R., Shiomi H., Nishimura T., Iijima H.
2. 発表標題 Hepatoma-derived growth factor as a potential target molecule for the treatment of hepatocellular carcinoma.
3. 学会等名 JSH International Liver Conference 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Enomoto H., Nakamura H., Takashima T., Aizawa N., Ikeda N., Yuri Y., Fujiwara A., Yoshihara K., Yoshioka R., Kawata S., Ota S., Nakano R., Shiomi H., Nishimura T., Nishiguchi S., Iijima H.
2. 発表標題 Hepatoma-derived growth factor as a potential therapeutic target for hepatocellular carcinoma.
3. 学会等名 APASL Oncology 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 榎本平之、由利幸久、飯島尋子
2. 発表標題 Sequential療法後のHBs抗原消失に関する検討
3. 学会等名 第109回日本消化器病学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 由利幸久、榎本平之、飯島尋子
2. 発表標題 C 型肝炎ウイルス SVR 後の食道胃静脈瘤の長期経過に関する検討.
3. 学会等名 第109回日本消化器病学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 榎本平之、会澤信弘、岡本麻美子、吉原公平、吉岡亮太、川田翔己、由利幸久、高嶋智之、池田直人、塩見英之、福西新弥、飯島尋子、西村貴士
2. 発表標題 Sequential療法のHBsAg消失と栄養評価指数との関連についての検討
3. 学会等名 第45回日本肝臓学会西部会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 榎本平之
2. 発表標題 Hepatoma-derived growth factor(HDGF)の肝癌増殖における役割の検討：治療標的の可能性について
3. 学会等名 第27回日本肝臓学会大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Enomoto H., Nakamura H., Aizawa N., Takashima T., Ikeda N., Yuri Y., Okamoto M., Yoshihara K., Yoshioka R., Kawata S., Kawase Y., Nakano R., Shiomi H., Iijima H.
2. 発表標題 Identification of the possible target genes of hepatoma-derived growth factor in hepatoma cells
3. 学会等名 APASL Oncology (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Enomoto H., Nishikawa H., Nakamura H., Fukunishi S., Shiomi H., Iijima H
2. 発表標題 Hepatoma-derived growth factor as a possible target gene for the treatment of HCC
3. 学会等名 The Asian Pacific Association for the Study of the Liver (APASL) (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 腸内細菌叢とがん免疫療法
3. 学会等名 第46回近畿小児血液・がん研究会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 肥満と肝がん ~Leaky gut による腸内細菌関連物質の肝移行とがん微小環境形成~
3. 学会等名 49回日本微小循環学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 がん微小環境と腸内細菌
3. 学会等名 第38回札幌冬季がんセミナー (招待講演)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 Leaky gut による腸内細菌関連物質の肝移行と肝がん微小環境形成
3. 学会等名 第19回日本がん分子標的治療学会（招待講演）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 腸内細菌叢と生活習慣病・がん
3. 学会等名 日本抗加齢医学会（招待講演）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 肝がん微小環境におけるガスダーミンDによるSASP因子の放出とがん進展機構
3. 学会等名 第46回 日本分子生物学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 腸内細菌叢と肝がん
3. 学会等名 第34回日本消化器癌発生学会総会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山岸良多, VU Thuong Huyen, 野中允幾, 越前佳奈恵, 矢野めぐむ, 神谷知恵, 大谷直子
2. 発表標題 運動による代謝変化を介したNASH関連肝がん抑制機構
3. 学会等名 第45回日本臨床栄養学会総会・第44回日本臨床栄養協会総会 第21回大連合大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 肝疾患の病態に基づいた治療戦略 細胞老化・SASPのがん微小環境における役割とそれを標的とするセノセラピー
3. 学会等名 第31回日本消化器関連学会週間 (JDDW)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 腸内細菌叢と肥満関連肝がん～腸内細菌関連物質の肝移行によるがん微小環境形成～
3. 学会等名 千里ライフサイエンスセミナー 3 第9回がんシリーズ (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 宇野 敦葵, 野中 允幾, 越前 佳奈恵, 山岸 良多, 程 イ, 大谷 直子
2. 発表標題 肥満誘導性肝臓がん微小環境における様々ながん促進的経路に着目した機能的インタラクトーム解析 (Functional interactome analysis in various tumor-promoting pathways in obesity-associated liver tumor microenvironment)
3. 学会等名 第82回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 野中 允幾, 宇野 敦葵, 越前 佳奈恵, 山岸 良多, 大谷 直子
2. 発表標題 肥満誘導性肝がん微小環境におけるがん進展過程を考慮したネットワーク解析(Tumor-promoting interactome/network analysis during the progression of NAFLD/NASH-associated liver cancer model)
3. 学会等名 第82回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山岸 良多, 蒲池 史卓, 河田 則文, 原 英二, 大谷 直子
2. 発表標題 肝がん微小環境におけるSASP因子放出の分子メカニズムと肝がんの進展機構の解明(Molecular mechanism of SASP factor release in liver tumor microenvironment and hepatocellular carcinoma progression)
3. 学会等名 第82回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 越前佳奈恵 大谷直子
2. 発表標題 研究と子育てを両立させる作戦 インフォマティクス解析を取り入れた研究スタイル
3. 学会等名 第82回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山岸 良多, 蒲池 史卓, 程 イ, 河田 則文, 原 英二, 大谷 直子
2. 発表標題 腸内細菌が関わる肝発癌と免疫応答(Commensal bacteria and tumor immunity Hepatic Carcinogenesis and Immune Response Involving Gut microbial metabolites)
3. 学会等名 第82回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2023年



1. 発表者名 神谷 知憲, 藤井 英樹, 武藤 芳美, 河田 則文, 大谷 直子
2. 発表標題 非アルコール性脂肪肝疾患関連肝がんにおける細胞傷害性T細胞の肝臓への遊走メカニズムと治療への応用
3. 学会等名 第27回日本がん免疫学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 肝がん微小環境における細胞老化・SASPの役割とその制御～SASP因子放出のメカニズム～
3. 学会等名 第31回 日本Cell Death学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 腸内細菌叢と肝がん
3. 学会等名 日本乳酸菌学会 2023 年度大会 BMFH セミナー（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山岸良多、大谷直子
2. 発表標題 IL-33によるNASH関連肝がん促進機構の解明
3. 学会等名 第27回日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 ヴトゥン フェン、山岸良多、大谷直子
2. 発表標題 規則的な運動はオンコメタボライトKynurenineを減少させることで肥満誘導性肝がんの進展を抑制する
3. 学会等名 第27回日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 がん微小環境における細胞老化・SASPの役割とその制御
3. 学会等名 第23回抗加齢医学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 細胞老化とSASP：その誘導機構とがん微小環境における役割
3. 学会等名 第96回日本内分泌学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 規則的な運動による代謝変化とがん抑制
3. 学会等名 第9回 がん代謝研究会 in 松山
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大谷直子
2. 発表標題 腸内細菌叢と肝がん
3. 学会等名 第31回日本医学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Naoko Ohtani, Vu Thuong Huyen, Ryota Yamagishi, Kanae Echizen, Yoshiki Nonaka, Shinji Fukuda.
2. 発表標題 Low-speed regular exercise reduces HCC development by muscle PGC1 $\alpha$ -mediated kynurenine degradation.
3. 学会等名 APASL (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Yoshiki Nonaka, Atsuki Uno, Kanae Echizen, Yuya Yoshida, Fumiya Sobue, Takahiro Kodama, Naoko Ohtani.
2. 発表標題 Tumor promoting interatome/network analysis during the progression of MASLD/MASH-associated liver cancer model.
3. 学会等名 The 1st International Symposium on Cancer Immunology and Immunotherapy (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Yoshiki Nonaka, Atsuki Uno, Kanae Echizen, Yuya Yoshida, Fumiya Sobue, Takahiro Kodama, Naoko Ohtani.
2. 発表標題 Inter-Cellular Network Analysis in Tumor Microenvironment During The Progression of MASLD/MASH-HCC.
3. 学会等名 APASL (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Atsuki Uno, Yoshiki Nonaka, Kanae Echizen, Ryota Yamagishi, Takahiro Kodama, and Naoko Ohtani
2. 発表標題 Identification of tumor-promoting secreted factors in the progression of steatosis-associated HCC.
3. 学会等名 APASL (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Naoko Ohtani
2. 発表標題 The role of senescence-associated secretory phenotype (SASP) in modulating anti-tumor immunity in steatosis-associated liver cancer.
3. 学会等名 The 1st International Symposium on Cancer Immunology and Immunotherapy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Naoko Ohtani
2. 発表標題 The role and mechanism of SASP in the tumor microenvironment of steatosis-associated liver cancer.
3. 学会等名 A3 Foresight Program Kick-off meeting Cellular Senescence: from Pathophysiology to Treatment (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Naoko Ohtani
2. 発表標題 Gut-liver axis-mediated mechanism of NASH(MASH)-associated hepatocellular carcinoma progression.
3. 学会等名 The 3rd JSH International Liver Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Naoko Ohtani
2. 発表標題 Gut-liver Axis-Mediated Mechanism of Obesity-Associated Hepatocellular Carcinoma Progression.
3. 学会等名 The 2nd JCA-AACR Precision Cancer Medicine International Conference. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 Enomoto H	4. 発行年 2022年
2. 出版社 MDPI Open Access Books	5. 総ページ数 112
3. 書名 Recent Advances in the Diagnosis and Treatment of Chronic Liver Diseases	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	安田 修  (Yasuda Osamu)  (00372615)	鹿屋体育大学・スポーツ生命科学系・教授   (17702)	
研究分担者	西川 浩樹  (Nishikawa Hiroki)  (30769609)	大阪医科薬科大学・医学部・教授   (34401)	
研究分担者	榎本 平之  (Enomoto Hirayuki)  (40449880)	兵庫医科大学・医学部・准教授   (34519)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	大谷 直子  (Ohtani Naoko)  (50275195)	大阪公立大学・大学院医学研究科・教授    (24405)	
研究 分 担 者	横路 三有紀  (Yokoro Miyuki)  (80757188)	武庫川女子大学短期大学部・食生活学科・講師    (44523)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関